

●世田谷区政や日本共産党へのご意見をお寄せ下さい。

子育てのまち 「せたがや」への さらなる前進



前進①

待機児解消！区民の運動が実る！

保育士確保のための家賃助成に「保育室」への拡充を実現しました

区議団は、全国で最も多い待機児童を解消するため、認可を中心とした保育所整備をすすめることを求め続けてきましたが、保育士不足は特に都内で深刻です。

区は今議会に保育士確保策として区独自に保育士等一人につき、8万2千円の宿舍借り上げ支援制度（家賃補助）を提案。しかし、これには「保育室」などが対象外となり、区議会には、保育室や保護者から署名や要望活動が行われました。区議団としてもこの声を受け止め、代表質問などで「保育室も助成対象とするべき」と強く要望。区は保育室にも家賃助成を行うこと、区として予算措置を行うことを決定しました。

前進②

病児保育所が足りない！

今後の区の「病児保育施設拡充方針」を見直させました

現在、区内の病児・病後児保育所は 箇所、定員は 58 名。保護者からは「感染症が流行る時期は利用が殺到し、利用できない」との声が多く寄せられています。一般質問で江口区議は「区が提案した『平成 31 年度までの病児保育施設拡充方針では、今後 28 名の定員増にしかならない。増加する子どもの数と平成 31 年度までの保育所 2 万人整備計画を考慮し、実態に即した整備計画の拡充を求めます。』と質問。区は「来年度、見直しを行う」と答弁しました。

地域の高齢者・障がい者・子育て世代の「足の確保」を！

区長「検討していく」

「公共交通不便地域」解消に向けて、大きな一歩

砧・大蔵地域や烏山地域など全区的に「公共交通不便地域」（*）解消を求める声が強く聞かれています。今議会に向けて、砧・大蔵地域にお住いの住民団体による地域でのアンケート活動を展開。江口区議は、決算特別委員会でこのアンケートを紹介しながら、保坂区長に「ワンボックスタイプの小型車両等、さまざまな手段の検証をすすめることを、そして、採算性の解決のために、区として公費負担について検討すること」を求めました。区長からは「検討していく」と前向きな答弁がありました。「公共交通不便地域」解消に向けて、大きな一歩です。

*公共交通不便地域とは……



江口じゅん子

外環道工事予定地から発掘された「殿山横穴墓群」の保存を求めました

外環道工事により、7世紀頃の「横穴墓」が17基も発見されました。(既に2基は埋め戻された)世田谷の古墳時代を後世に伝える郷土史の貴重な宝として、区長に保存を国等に要望することを求めました。区長からは「すでに要望しており、今後も行っていく」と答弁がありました。

環八の千歳台交差点のバリアフリーを求めました

歩行者が環八を横断するには、築45年の歩道橋を使用するしかなく、高齢者・障がい者・子育て世代から「不便だ」等声が強く寄せられていました。私は、老朽化歩道橋の改築と合わせたエレベーター設置を提案、区からは「都に対して歩道橋のバリアフリーに対しての要望を継続する」旨の答弁がありました。



桜井みのる

身寄りのない高齢者の居住支援を充実せよ

身寄りのない高齢者のアパート探しが大きな課題となっています。そうした高齢者等を支援するために区は、入居時の保証会社に対する保証料助成などを行う居住支援をしています。しかし入居者が亡くなった後の部屋の家財道具などのあと片づけが大家の負担となり、そのことを理由にアパートを借りることを断られることがあります。亡くなった後の部屋のあと片づけも支援する区の居住支援の充実を求め、区は「検討する」と答えました。

下馬二丁目都営団地周辺地区地区計画は住民の意見を聞き丁寧に行え

この地区計画は2010年度から住民の議論が行われてきました。今年3月に地区計画素案説明会が行われましたが、建物高さを低くしてほしいとの意見が出されています。地区計画案の決定を急ぐのではなく、住民との話し合いを丁寧に進めるべきと求めました。



たかじょう訓子

点字ブロック補修の仕組みを作れ

視覚障害者との千歳鳥山駅付近ウォッチングを実施しました。点字ブロックの劣化による破損が放置されている状況があることから、早期発見し補修を行う仕組みを作ることを求めました。区は、車でのパトロールに加え徒歩での確認も行うなど工夫していくと答弁しました。

35人学級の拡充を

現在、小学校1、2年生で35人学級が実施されていますが、3年生になるときに40人学級に変わります。1日も早い全学年での35人学級の実施を国に求めるよう訴えました。また、現在区は、児童数39人以上の学級には、区独自で講師の加配していますが、39人に満たない学級にも実施すべきであり、3、4年生の35人以上の学級に講師を配置するよう求めました。



中里光夫

公共図書館の役割を守れ！ 民営化ガイドラインの確立を

区立図書館に指定管理者を導入できるようにする条例が自民、公明などの賛成で可決されました。日本共産党は反対しました。ツタヤを指定管理者とした武雄市立図書館では、ツタヤの関連会社から10年前の実用書などの中古本を大量購入したり、貴重な郷土資料を廃棄したことなどが問題となっています。公共図書館としての役割を守るために民営化にあたっての制限基準を確立し、民営化ガイドラインを作ることを求めました。

「らぶらす」の移転計画は全利用団体に説明し話し合いを

北沢タウンホール内にある男女共同参画センター「らぶらす」の移転計画が、利用者に一切説明なく進められようとしていました。「らぶらす」の利用者は334団体、9万人にも及びます。区は利用者からの訴えで説明会を開くことにしました。全ての利用団体に説明し、話し合いの場を設け、合意なきでの移転を進めないよう求めました。



村田義則

地域包括ケアで住民の個別支援にとりくめ

高齢者、障害者、子育てなど住民の福祉の相談を身近な出張所、まちづくりセンターで行なう「地域包括ケア」が来年の7月から全地区で開始されます。日本共産党は、まちづくりセンターでは「相談」とともに必要な手続きや支援も行なうよう提案、そのための体制の整備を求めました。区は「社会福祉協議会が担えるように指導する」と答弁しました。

公契約条例の実効性の担保を

公契約条例は、公共サービスなどにかかわる労働者の労働環境の改善と良質な公共サービスの確保を目的に制定されました。労働報酬下限額の早急な制定と実効性の担保を求めました。

小規模特養ホーム整備に都の補助を拡充せよ

都議会第3回定例会での一般質問は、区議団と視察した長岡市「こぶし園」の取組にも学んで、高齢者が、一人暮らしでも、低所得でも、誰でも住み慣れた地域でくらすように、都としてあらゆる手立てをとることを求めました。また、定員29人以下の小規模特養ホームは、大きな土地の確保が難しい都心でも整備ができ、世田谷区のように広い区内の各地に作れば、住み慣れた地域でくらすこともできるので、整備をすすめるよう求めました。小規模特養ホーム整備に都の補助を拡充して使えるようにせよと求め、舛添知事は「大都市にふさわしい高齢者施策を展開していく」と答弁しました。



都議会議員
里吉ゆみ

戦争法案と 保坂区政 2 期目の 予算編成が焦点に

代表質問をした桜井みのる区議に聞く



(代表質問をする桜井みのる区議)

Q 第3回区議会定例会が終わりましたが、どんな区議会だったのでしょうか。

A 今議会は、国会で強行採決がされた戦争法案が焦点となりました。また、保坂区政 2 期目の最初の予算となる来年度予算が議論されました。

Q 戦争法案についてどう議論がされたのでしょうか。

A わが党は、代表質問で区長に対し戦争法案廃案を求める運動との共に努力するよう求めました。また、超党派の区議会議員で「安保法制の強行採決に抗議し、今国会で成立した安保関連法の廃止を求める意見書」を提案しました。(下記) 党派を超えた共同が世田谷でも広がっています。

Q 来年度予算の議論はどうでしょうか。

A 来年度予算についてわが党は、不要不急の大型道路整備などを見直し、暮らし・福祉を最優先にする区政を前進させることを求めました。

自民党時代に「行革」によって切りすたられた福祉や区民サービスをもとに戻すこと、とくに今年度の胃がん検診に続き、来年度、特定健診や他のがん検診を無料にもどすよう求めました。区は来年 4 月から「住民税非課税世帯への無料化をすすめる」と答弁しました。

また、区内で都市計画道路の未着手路線は約 60 キロメートルです。未着手になっている路線を具体的に示し、廃止を含め見直しを求めました。区は「区内の道路整備の水準は低く…整備をすすめる」と見直す姿勢はありません。

区立図書館への指定管理者導入に反対

Q 区立図書館の民営化が狙われていますがどうでしょう。

A 今議会で区立図書館への指定管理者導入をすすめる条例に

わが党は反対しました。また、ツタヤが指定管理者となった佐賀県武雄市立図書館の実態を示し、指定管理者導入で公共図書館の質の悪化を招きかねないと、区で図書館の質を守るガイドラインをつくるよう求めました。

「新しい総合事業」でサービス低下をさせない

Q 来年 4 月から要支援 1、2 の方の「新しい総合事業」が始まるそうですが、どのような内容ですか。

A 新しい介護予防・日常生活支援総合事業は、給付抑制を目的に要支援 1、2 の方の訪問介護や通所介護の介護サービスを保険給付から外し、低廉なサービスに置き換えていくものです。区の「新しい総合事業」は、事業者への報酬単価を抑えています。そのため訪問介護のサービス A では、旧 3 級ヘルパー程度の研修を受けたヘルパーによるサービスを考えていますが、現在そのようなヘルパーはほとんど存在せず、事業の担い手がいません。また、通所介護のサービス A では、入浴サービスがなくなり、施設への送迎も必要な利用者が排除されかねません。わが党は、送迎に対する事業者への報酬加算を求め、サービス A

保育待機児解消は待ったなしの緊急課題

Q 保育待機児の解決も求められていますね。

A でも入浴サービスが受けられるようにせよと求めました。世田谷区の今年 4 月の保育待機児は 1,182 名で、区は今年度 2,082 人分の整備目標を掲げて取り組んでいます。しかし、8 月に区から示された保育園整備状況は、来年 4 月時点の見込みで 1,200 人程度であるとしています。わが党は、保育園整備の目標を確実に達成するよう全力をつくすことを求めました。また、保育士確保のための家賃補助を保育室にも行うよう求め、区は 10 月から実施しました。

安保法制の強行採決に抗議し、廃止を求める意見書を提案

9 月 19 日、安保関連法案が採決されました。これを受けて 9 月 30 日の世田谷区議会本会議に「安保法制の強行採決に抗議し、今国会で成立した安保関連法の廃止を求める意見書」を共産、民主、社民、維新、行革、生活者ネット、無所属の共同で提案しました。提案した各党派が賛成討論、自民、公明が反対討論を行いました。賛成少数で否決されました。討論の様子はインターネットの中継録画で見ることができます。

炉室内のダイオキシン漏れで 昨年11月から操業停止 新たに2億円の区の負担増に

世田谷清掃工場(砧公園隣り)は、昨年10月に炉室内のダイオキシン漏れが起こり、職員が工場内で作業できない状況になっています。この間、ダイオキシン漏れ対策工事を行っていますが解決せず、現在まで1年近く操業を停止しています。操業停止になってから、周辺住民に対して、一度も説明をしておらず、わが党は直ちに説明会を行うよう求めました。

また、操業停止して以降、区内で収集した可燃ごみは他区の清掃工場に運んでおり、その費用として区は新たに2億5千万円の補正予算を組みました。

■ ガス化溶解炉はただちに廃止を

わが党は技術的に未完成であるガス化溶解炉を世田谷清掃工場に導入することに反対してきました。今議会でガス化溶解炉として稼働した2008年から今まで、相次ぐ故障による清掃工場の稼働停止状況を質し、ガス化溶解炉はただちに廃止せよと求めました。区は、故障が頻発しており「年間計画稼働日数を確保したことはほとんどない」と答えました。(表)

■ 相次ぐ故障のため稼働日数が確保できない 定期点検を除く年間計画稼働日数は290日

故障で稼働停止した日数							
年度	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年
故障休炉日数	110日	60日	95日	70	100	45	190

気軽に家族が会いに行ける小規模特養ホームの実現を ～「こぶし園」を訪問して～ たかじょう訓子

党区議団は、8月26、27日に、地域の皆さんと総勢23人で新潟県長岡市にある高齢者総合ケアセンター「こぶし園」を訪問してきました。今回見学した施設は、私が知っている病院のような大規模な特養ホームと大きく違っていました。老後を、一人一人が自分らしく生きるためにどういったサービスが必要なのかという観点から出発しています。私もこんな施設だったら入居したいと思う施設でした。私たちが目指すのは、このように地域に密着した施設を持ち、社会とつながり、支え合う社会であると心の底から思いました。

「こぶし園」の施設の一つである「サポートセンター攝田屋(せったや)」は、小規模特養ホームと認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護、サービス付き高齢者向け住宅が併設されています。

個室に玄関が設置されているので、施設のエントランスを通らなくても、家族や友人がいつでも訪問できます。また、子どもたちが遊べるキッズコーナーもあり、子どもたちが気軽に立ち寄ります。ちょうど訪問していた時にも、子ども達が走って施設内に入っていくところを見ることができました。



テラス側の入口から見たサポートセンター攝田屋



地域のみなさんが集える場所

出張所、まちづくりセンターごとに小規模特養ホームの整備を

わが党は、住み慣れた地域で支えあい自分らしく安心して暮らし続ける地域社会の実現のために、出張所・街づくりセンターごとの27カ所に、小規模特養ホーム、小規模多機能居宅介護の整備を求めてきました。このような社会を実現するために、皆さんと一緒に全力を尽くします。

区の小規模特養ホームの整備計画

区は、29年度開設に向けて、上北沢1丁目(都有地)、成城3丁目(区有地)に小規模特養ホームの整備、運営業者の選定をすすめています。また、下馬2丁目(国有地)は、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能居宅介護、を併設の小規模特養ホームを整備、運営事業者は決まりました。